2026年10月13日
公益財団法人日本陸上競技連盟

クラークU18アジア選手権大会日本代表選考要項

1. 編成方針

U18年代からアジアをはじめ世界に目を向け、国際競技会で戦う経験を積むとともに、将来的にシニアカテゴリーでの国際競技力向上・日本陸上界全体の発展を目指す。
本大会は、日本代表としてメダル獲得および入賞のできる競技者を派遣するものとし、競技力・U18世代の育成過程等を総合的に勘案したうえで、戦略的に選手団を編成する。

2. 開催地

クラーク(フィリピン)

3. 開催期間

2027年4月8日(木)～11日(日)

4. 種目(予定)およびエントリー枠

※詳細な大会情報の公開により、開催種目が変更になる可能性がある。

(1)開催種目

男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH(0.914m)、400mH(0.838m) 、
2000mSC (0.838m)、10000mW、メドレーリレー(100m,200m,300m,400m)、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(5kg)、円盤投(1.5kg)、ハンマー投(5kg)、
やり投(700g) 、十種競技

女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、100mH(0.762m,8.5m)、400mH(0.762m) 、
2000mSC(0.762m)、5000mW、メドレーリレー(100m,200m,300m,400m)、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(3kg)、円盤投(1 kg)、ハンマー投(3kg)、
やり投(500g) 、七種競技

(2)エントリー枠

各種目、最大2名エントリー可能。

5. 選考基準

(1)トラック&フィールド

2010年または2011年生まれの競技者で、2026年4月1日～11月10日までの日本陸連公認記録の最上位の競技者から選考する。
ただし、派遣枠に限りがあるため、編成方針に沿って総合的に選考する。
なお、下記一部の種目は、以下の規格・種目で選考する。他の種目は、大会実施規格の記録で選考する。
※日本陸連エントリーシステム(https://athleticfamily.jaaf.or.jp/)にあるランキング上の記録。

U18アジア選手権 実施予定種目	選考対象記録
男子110mH(0.914m)	男子110mH(0.991m)
女子100mH(0.762m,8.5m)	女子100mH(0.762m,8.5m)
男子400mH(0.838m)	男子400mH(0.914m)
男女2000mSC	男女3000mSC
男子10000mW 女子5000mW	男女5000mW
男子砲丸投(5kg)	男子砲丸投(6kg)
女子砲丸投(3kg)	砲丸投(4kg)
男子円盤投(1.5kg)	男子円盤投(1.75kg)
男子ハンマー投(5kg)	ハンマー投(6kg)
女子ハンマー投(3kg)	ハンマー投(4kg)
男子やり投(700g)	やり投(800g)
女子やり投(500g)	女子やり投(600g)
十種競技	十種競技

(2)リレー種目

個人種目のエントリー状況を鑑みて、編成方針に準じて日本代表チームの派遣を検討する。
また、派遣する場合の選考にあたっては、選考基準を基に、リレーの特性を考慮して選考する。

6. 選考方法

選考基準に則り、強化委員会強化育成部にて選考原案を作成し、専務理事が承認する。

7. 参加資格

(1)2027年12月31日時点で16歳または17歳の(2010年または2011年生まれ)日本国籍選手のみがエントリーできる。
(2)選手が出場できる種目の最大数は、個人種目2種目とリレー競技まで。個人種目2種目がトラック競技の場合、個人競技2種目のうち1種目のみ200mを超えることができる。
(3)リレーは最大8名の選手で構成される1チームをエントリーできる。リレーまたは他の種目にエントリーした選手の中から4名を選べば、第1ラウンドのチーム構成に使用できる。

8. 補足

(1)代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は 大会主催者

2026年10月13日
公益財団法人日本陸上競技連盟

が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(2) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

本連盟が定める日本代表選手等に関する規程（参考）：

・日本代表選手等の肖像及び公式衣類等に関する規程

・日本代表選手等に関する行動規範

(3) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

(4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

１）アンチ・ドーピング規則に反した場合

２）故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合

３）前記（2）（3）を遵守しない場合

(5)天災、疫病の流行、社会情勢、主催団体の指示等の理由により、選考基準、本大会への派遣について、専務理事の決定において変更することができる。

以上